

はじめに

大学に入ったばかりの新入生に「自分の英語力で不足している分野はどこですか？」とたずねると、ほぼ全員に近い学生が「話す分野です」と答えます。したがって、「大学では、話す力を伸ばしたい」と言います。あなたはのでしょうか？

会話練習をするためには、話し相手が必要です。授業ではクラスメイトを相手に、あるいは担当の先生を相手に話す練習をすることができますが、授業以外ではなかなかできませんね。話し相手がいたとしても、話すための内容がなければ、一方的に聞くだけとなってしまいます。

そこでお勧めするのが「英語で書く」ことです。話すのも書くのも「自己表現」です。書くことができれば、確実に話すことができます。英語らしい発音で話すことができればもちろん良いのですが、発音の正確さは絶対条件ではありません。また、文法的な間違いが多少あっても、通じるものです。外国人の変な日本語が通じるのと同じですね。

本書は、そんなことを念頭に置いて編集した「英語で自己表現する」ための英作文テキストです。テキスト全体を4つのチャプターに分け、それぞれのチャプターを3つのユニットで構成しています。初対面での自己紹介、余暇の過ごし方、高校時代の思い出、週末や休暇の過ごし方といった身近な話題に絞り込み、英語で会話をするための準備となるように工夫しました。

各チャプターでは、最初の2つのユニットでモデルになる英文を通じて基本的な表現を学習しながら、書くための練習問題に取り組み、最後の3つ目のユニットで1編の英作文を仕上げるように編集してあります。以下の要領で取り組んでください。

最初の2ユニット

Let's / Pronounce

ユニットの学習を進めるために必要な語句が、高校までに習った単語も含めて示してあります。音声教材を聞きながら、繰り返し練習してください。

Let's / Read

身近にいそうな大学生2人（このテキストの主人公：亜純さんと良樹君）が書いた英文を読み、その内容理解を試す問題に答えてください。

Let's / Listen

主人公の2人を中心にかわされる会話を聞き取り、その内容理解を問う問題に答えてください。

Let's / Practice

英語で書いたり話したりする際の基本的な規則を学ぶための練習問題です。それぞれの指示に従って解答してください。

Let's / Complete

英作文する際に役立つ表現を盛り込んだ英文を完成する問題が作ってあります。ユニットで学習したことがどの程度身に付いたかを試してください。

Grammar Tips

そのユニットで取り上げた文法項目についての解説・ヒントを読み、理解を深めてください。

3つ目のユニット



ユニットの学習を進めるために必要な語句を、音声教材を聞きながら、繰り返し練習してください。



モデルの英文を読み、下線を施した箇所を自分の場合に当てはめて置き換え、2パラグラフ程度の英文を書いてください。



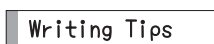
そのチャプターのテーマに関する質問が15問ほど示してあります。その質問に答えることで、書くための素材を集め、3つ目のパラグラフを書く準備をしてください。



Let's Answerの答えを整理しながら、あなた自身に関する英文を1パラグラフ程度にまとめて書いてください。



Let's Rewriteと**Let's Write**で書いた3つのパラグラフをまとめて、レポート用紙に清書してください。これを隣の人と交換して読み合い、読んだ感想、よくわからない箇所、間違っていると思われる箇所などを伝え合ってください。



英作文を書く際のヒントになることをまとめてありますから、参考にしてください。

このテキストを終える頃には、自分自身について書いた英作文4作品が完成します。この作品を暗記するのではなく、書いた内容を思い出しながら、クラスメイトと、できれば英語のネイティブ・スピーカーと話してみてください。きっと、英語で話す力が飛躍的に伸びたことを実感することでしょう。

著 者

Contents

Chapter One: Self-introduction 7

Unit 1 Hello! 8

Grammar Tips-1 人名・地名の英語綴り

Unit 2 Nice to Meet You 12

Grammar Tips-2 人称代名詞

Unit 3 Let Me Introduce Myself 16

Writing Tips-1 パラグラフとインデント

Chapter Two: Pastimes and Hobbies 21

Unit 4 My Free Time 22

Grammar Tips-3 自動詞と他動詞

Unit 5 My Hobbies 26

Grammar Tips-4 現在・過去・未来

Unit 6 My Favorite Pastime 30

Writing Tips-2 ピア・エディティング

Chapter Three: High School Days 35

Unit 7 My High School 36

Grammar Tips-5 付加疑問

Unit 8 High School Life 41

Grammar Tips-6 名詞と冠詞

Unit 9 Memories of High School 45

Writing Tips-3 英語と日本語

Chapter Four: Weekends 49

Unit 10 My Weekends 50

Grammar Tips-7 進行形と完了形

Unit 11 Part-time Jobs 55

Grammar Tips-8 動詞の形

Unit 12 My Typical Weekend 60

Writing Tips-4 英語で自己表現

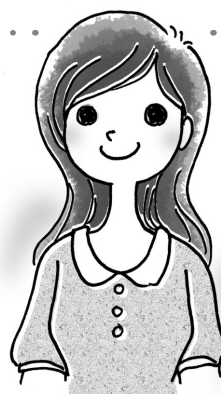
本書の主な登場人物



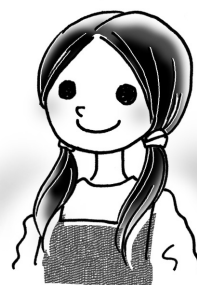
Azumi



Megumi



Sanae



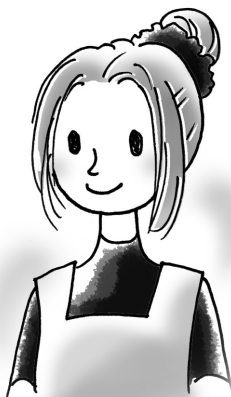
Yuki



Naoki



Yoshiki



Reiko



Mr. Yoshikawa

1

Chapter One

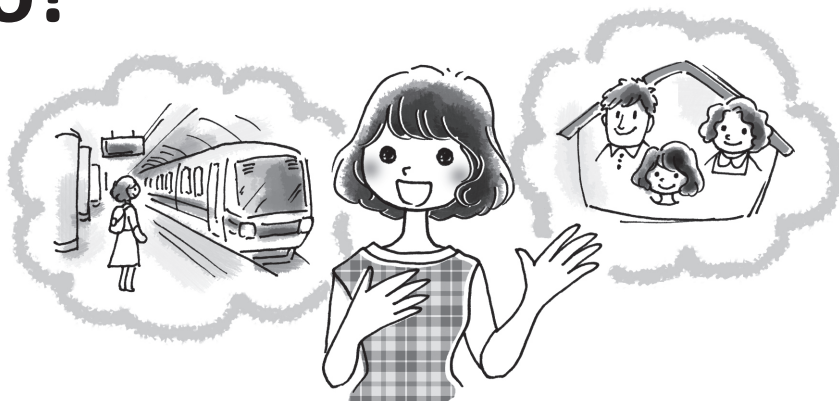
Self-introduction

このチャプターでは、自分自身のことを英語で紹介する文を書く練習をします。自分の名前、年齢、出身地、大学、学部、専攻、住まい、家族など、様々なことを英語で表現することになります。

人名や地名を書く際には「ヘボン式」のルールに従ってアルファベットで綴る必要がありますから、その基本を確認してください。大学や学部について述べる時には、英語の名称が必要となりますね。大学のホームページの英語版などで調べましょう。履修している科目の英語表記については、担当の先生が書かれたシラバスが参考になるでしょう。それでもわからない場合は、担当の先生にたずねてみてください。

Unit 1

Hello!



Let's /

Pronounce

次の語句の発音を聞き、繰り返し練習しなさい。



- ☐ **family name** 苗字 *cf.* first/given name 名前
- ☐ **rice field** 水田
- ☐ **ancestor** 先祖、祖先
- ☐ **graduate** 卒業する **graduate from** ～ ～を卒業する
- ☐ **freshman** (大学・高校の) 1年生
- ☐ **sophomore** (大学の) 2年生 [大学の3年生はjunior、4年生はsenior；高校の2年生はjunior (またはsophomore)、3年生はsenior]
- ☐ **apartment** アパート、マンション [mansionとは言わない]
- ☐ **located** 位置している **be located in/at** ～ ～にある
- ☐ **southern** 南の、南方の
- ☐ **volunteer** ボランティア
- ☐ **department** (大学の) 学科 *cf.* school/faculty 学部
- ☐ **biotechnology** 生物工学
- ☐ **prefecture** 県 例 Fukuoka Prefecture 福岡県
- ☐ **hometown** 故郷
- ☐ **dormitory** (大学などの) 寮
- ☐ **dorm** dormitoryの短縮語 [東京ドームなどのドームはdome]
- ☐ **used to** ～ (以前に)～したものだ、(かつては)～だった
- ☐ **share** (～を) 分け合う、共有する
- ☐ **move** 引っ越す
- ☐ **cafeteria** (大学や会社の) 食堂

Read

Hello! I'm Azumi Nishida. My family name, Nishida, means 'rice field in the west,' so I guess my ancestors were farmers and lived near their rice fields.

I graduated from high school this year, and now I am a freshman at Joto University. My birthday is March 13, so I am 18 years and one month old.

I live at home with my parents. Our apartment is located in the southern part of Nagoya, and I come to college by subway. It takes me about fifty minutes from my home to the college.

1. Azumi's family name is ().
2. She is in her () year at college.
3. She is () years and () month old.
4. She lives in () with her ().
5. She goes to college by ().

Listen

よし き ひろし
良樹君と浩君の会話を聞き、次の質問の答えを1つずつ選びなさい。

1. Where was Yoshiki when someone came to talk?
a. the cafeteria **b.** a classroom **c.** a club room
2. Who came?
a. a classmate **b.** a freshman **c.** a sophomore
3. Why did he come?
a. to join the club **b.** to meet Yoshiki **c.** to eat lunch
4. Which city is he from?
a. Gifu **b.** Takayama **c.** Gujo
5. Where will he live?
a. in the dormitory **b.** at his parents' home **c.** in an apartment

Practice

次の地名や人名を英語（＝アルファベット）で綴りなさい。

- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 九州 | _____ | 2. 静岡 | _____ |
| 3. 四日市 | _____ | 4. 塩尻 | _____ |
| 5. 大津 | _____ | 6. 船橋 | _____ |
| 7. 松下 | _____ | 8. 藤田 | _____ |
| 9. 京子 | _____ | 10. 憲一 | _____ |

Complete

空所に適する単語を入れて、日本語の意味を表す英文を完成しなさい。

- 私の苗字は加藤です。
My () () is Kato.
- ぼくは伊豆大学の1年生です。
I am () () () Izu University.
- 私は自宅で両親や姉と暮らしています。
I () () () () my parents and sister.
- 大学にはバスで通っています。
I () () college () ().
- 自宅から大学まで行くのに1時間ほどかかります。
() () me about an hour to get () my home
() the college.
- 私は井上順子といいます。ジュンと呼んでください。
I () Junko Inoue. Please () () Jun.
- ぼくは長野県松本市の出身です。
I'm () Matsumoto City, Nagano ().
- アパートには先週引っ越してきました。
I () () my apartment () ().

9. ぼくの大学は甲府市の中央に位置しています。

My college () () () the center of Kofu City.

10. ^{ひとみ}仁美は2年前に高校を卒業し、現在大学2年生です。

Hitomi () () high school two years ago, and she is
() () now.

Grammar Tips-1

人名・地名の英語綴り

英語で人名や地名を綴る場合には「ヘボン式」に従います。小学校時代に習ったローマ字(＝訓令式)では、サ行を例にとると、sa, si, su, se, soのように書きましたね。ところが、siでは「スイ」のような発音となってしまうので、shiと綴って「シ」の発音を表すのです。同様にして、「チ」はchi、「ツ」はtsu、「フ」はfu、「ジ」はjiと綴るのがヘボン式です。

訓令式では、母音を長くのばして発音する場合に長音符号(ーまたは^)をいましたが、ヘボン式では使いません。したがって、「九州」はKyushu、「大津」はOtsuとなります。ただし、「きゅしゅ」「おつ」のように読まれないようにと、Kyuushuu, Ohtsuのように綴る方法もありえます。また、Kenichi(憲一)が「けにち」と読まれることを避けるには、アポストロフィを用いてKen'ichiとするか、ハイフンを用いてKen-ichiと綴るのがよいでしょう。つまる音(＝「っ」)については、それに続く文字を重ねて、「四日市」をYokkaichiのように綴ります。

なお、英語で姓名を書く場合、このテキストではAzumi Nishidaのように苗字と名前の順を逆にしています。中学校の教科書などでは、逆にしないでNishida Azumiのように書くことが多くなりました。どちらの方法でも構いません。

